

アンケート結果 <2021年度以降の「特別支援金：500円」について・「JHA会員サイト」について>

		1. 2021年度以降の「特別支援金：500円」について	2. 「JHA会員サイト」について	3. その他
1	北海道	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援金を徴収する意味があまりないように感じます。するのであれば、明確に東京五輪日本代表応援金として、開催までを限定して徴収する。 この支援金は、競技場の上からの画像を撮影するシステムや、分析等に使われると聞いています。日本協会が財政難だということはお聞きしているので、その資金として維持したいと理解しています。 特別支援金に関しては、致し方ないと思います。しかし、競技人口の多い小中高生も一律に500円だと、子供たちの負担が大変ではないでしょうか。 オリンピック延期で特別支援金500円が延期されるのか、明確にしてほしい。 特別支援金が、代表チームの強化目的に使うのであれば問題ないと思います。 ひとつの案として、毎年開催されている「日本リーグ」の観戦チケット代金に支援金を上乗せするということも可能ではないでしょうか。例えば、「2,000円」のチケットを「2,500円」にし、「500円」分を強化支援金に充当するなど。 賛同します。透明性を高めて、協会発展のために効果的に運用してほしいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在のサイトでも別に困っていません。 これからの会員維持という目的で、色々と取り組んでいるのだと思います。これが必要なのか？と言われると分かりませんが、若い世代には良いのかもしれない。 会員サイトに関しては、情報提供の一本化は良いと思います。 会員サイトが「強化より」の内容なので、普及発展・競技者増加の活動に、より力を入れてほしい。 賛同します。 	<ul style="list-style-type: none"> 金銭の流れ、何をどう使い、どう効果が出たのか、より明確にし、報告してほしい。
2	青森県	今後も継続で良いと思います。協力いたします。	2021年度の導入に賛成いたします。	
3	岩手県	県協会内でアンケートを採ったところ、反対の方が若干名おりましたが概ね了承でした。	会員サイトの利用者がどれくらいになるか見通せない不安はありますが、概ね了承でした。大会記録担当者からは、報告等が面倒にならないようお願いしたいとの声がありました。	
4	宮城県	県協会としての検討はできませんでした。積極的な賛成はしかなませんが、オリンピック開催のための支援金として2021年度は致し方ないかと思えます。支援金以外の方法について検討が必要かと思えます。	基本的には賛成です。採用するに当たって、利用の仕方等を周知徹底していただきたい。	
5	秋田県	<ul style="list-style-type: none"> サイト運営に必要なものであれば、名前を変え、登録料に含めてもいたしかたないと思う。なかなか結果の見えない代表への支援金となれば、協会員に説明が難しい。登録料に含め見えないようにしてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 新サイトの立ち上げは、地方の意見も含め、本当に必要なものであれば反対する理由はない。ただし使いやすいものになることを切に希望する。 移行期間は必ず混乱が起きると思う。過去も紙資料による登録からWeb登録になった時、多くの意見があった。 具体的にサイトを立ち上げたとき今のチーム番号や個人番号はどうなるのか。認証は今までと同じく、協会が行うのか。 	
6	山形県	賛成	賛成	
7	福島県	<p>登録者から一律500円を徴収することは、日本協会としては財源確保の観点からすれば最も確保しやすく、安定した財源を得られることは承知しています。また、強化や新事業を興す場合には、資金が必要であることも承知しています。</p> <p>しかし、具体的な事業案や予算案も不明瞭なまま、何年継続するかも不明なまま、協力を願っても賛同する登録者は少数であることは推測できます。</p> <p>また、今年度はコロナウイルス感染症の影響で多くの全国大会、ブロック大会、県大会、地区大会が中止となったこともあり、特別支援金は現状では適切でないと考えます。</p>	先日、県協会の常任理事会で説明会に参加した事務局長より説明がありましたが、50代の理事が多く内容については正直「関心がない」という印象を受けました。ただ、チーム登録が今までのようにできるか心配している理事は多数いました。	
8	茨城県	賛成いたします。	業務の簡略化、ハンドボールのPR等を考えても内容を充実して実現していただきたいと思います。	
9	栃木県	当協会としては、結果が出ていません。また、東京五輪が一年延期となりました。当然、2021年まで続けることは、決定であると理解します。その後、この件について考えて行く期間が延びたと考えて慎重に検討していきたいと思えます。	1. と同様と考えております。この件につきましても東京五輪終了後にということと考えております。よって、この件も考える期間が延びたと考えています。慎重に検討していきたいと思えます。	
10	群馬県	特に意見や反対などは届いていません。	特に意見や反対などは届いていません。	
11	埼玉県	3月に総会を予定していましたが、中止となり、HPに資料を掲載し、各カテゴリーのチーフに意見を求めましたが、特に反対の意見はありませんでした。	各カテゴリーのチーフから、特に質問や意見はありませんでした。	
12	千葉県	『JHA会員サイト』の解説のため、そして代表やアンダーカテゴリーの強化のために必要なのは伝わりました。基本的には賛成だが、以下の通り疑問点がある。	<p>疑問点</p> <p>① 『将来の収益を生むためのサイト』ということですが、具体的にどのように収益を生むのか。試合の様子を写真で閲覧、販売という話でしたが、大きな収益を生むことができるのか。その他にも案が必要。おそらく特別支援金の500円は支払い続けることになると思われる。</p> <p>② ハンドボール協会員を2倍にするための流れが不明確。ハンドボール競技人口を増やす必要がある。動画では、『記録が一元管理されていないから、その結果として大学で続けない』ということであったが、本当か。大学でハンドボールを続ける魅力に問題があるのではないだろうか。小学生が中学で、中学生が高校で続けているわけでもない。上のカテゴリーで続けてもらうためには、それぞれのカテゴリーにおける育成プログラムを確立し、生涯ハンドボールを続けたいと思えるような競技にしなければならないと考える。ハード面より、ソフト面に力を入れてもらえるような形であれば、もっと支援金を出してもいい。</p> <p>③ 『競技に触れ続ける楽しさを提供』と『大会運営／情報管理の負担を楽にする』ことが目的だった。前者について、個人的に『誰が・どこからシュートを打ったか』等を表示できるようにするということがあったが、これは情報管理の負担が大きくなると思われる。非常に興味はある。しかし、作業の負担を減らすことには繋がらない。一部の人にしわ寄せが来るであろう。</p> <p>↓</p> <p>トップチームだけではなく、ハンドボール界全体のボトムアップができるようなサイトになることを願う。宜しくお願い致します。</p>	

アンケート結果 <2021年度以降の「特別支援金：500円」について・「JHA会員サイト」について>

		1. 2021年度以降の「特別支援金：500円」について	2. 「JHA会員サイト」について	3. その他
13	東京都	<p>理事長 東京都協会では3/14日の役員会で湧永会長のプレゼンをDVDにして映像を皆さんに見ていただき討議する予定でした。ところが新型コロナウィルス禍により会場が使用できないなど、また集団での会議の制約等討議を断念しました。したがって協会としての総意をお答えすることができません。 協会員に一齐配信で樋口へ返信するよう依頼しましたが小生の準備不足で十分な回答を得ることができません。解答用紙を 1. について強化支援金として認識した方もいて当惑しました。この件については力足らず申し訳ありません。</p> <p>私見ですが 十分な意見交換を経て討議検討する時間が必要と思います。秋に国体が開催されるか不透明な中、全国理事長会が開催できるかわかりません。6月の評議会で方針を示すことも困難な状況のなかJHA会員（登録者）の理解を求められる原案の再提案もアリかと思えます。 全カテゴリーの会員が享受できる内容などさらに深めたいかがでしょうか。 オリンピックが延期になり、強化は令和3年度も重要課題です。財政面から令和3年度も強化特別支援金を継続をお願いする方策も理解しやすいし、私は支持します。もともと時限のある会員へお願いでしたから。 ハンドボールの発展の為なら安いものであるという指摘もありました。</p>	<p>湧永会長の協会にお金を生み出し会員も利益を享受できるという熱い提案に敬意を表します。試験実施して閲覧するカテゴリー調査など経てからのご提案（すでに実施済みだったら申し訳ありません）するなどご検討いただければと思います。今は全国理事長会での討議は困難な状態と思います。 現在の非常環境下では地方協会に討議の時間がなく、今の日本協会運営を如何にするかが最重要課題と存じます。 不十分な回答で申し訳ございません。</p>	
		<p>副理事長 ・既にオリンピックは1年延期となり状況が変化している。議論はもう少し時間をかけて検討するべきと考えます。具体的には東京2021→パリ予選2023と、ナショナル強化にどのくらいの期間に、どのくらいかかるか計画を立て、実行可能か検討するべき。 ・登録費の値上げは検討しなかったのかわからない。財源が不足しているならば、値上げが先ではないでしょうか。登録者の理解があれば増えますが、登録者が理解しなければ減収になるものの、本当に必要ならば、増収しなければならない必要性を訴えるのが先ではないでしょうか。 ・特別支援金より、今年は新型コロナの影響で、大会中止や活動期間が短くなり、登録者減少の大幅な収入減といった最悪のシナリオについて、先に考えるべきではないでしょうか。</p>	<p>・そもそも、システムに係る開発費および年間の維持費を示さないことは、いかがなものか。このようなプレゼンでは通常のビジネス感覚ではありえず、協会スタッフが何を考えているのかわからない。 ・協会のサービスが本当に登録者の利益につながるか疑問。システムありきで、登録者のニーズは異なると考える。もう少し、協会幹部が現場に降りてきて、名もない小さなプライベート大会や社会人の都道府県大会の現場を見て、スタッフの声を聴くなど、何が本当の課題で、本当のニーズが何かを知るために、もっとコミュニケーションが必要と考えます。 ・現在の登録システムの問題点を、もっと正直に説明すべきだと思います。現在もネットを使った登録を行っており、登録問題は新しいシステムになっても登録側の利便性は変わらないと思われる。 ・収入増加を狙うターゲット層がわからない。中学生、高校生なのか、はたまた大学生なのか社会人なのか？登録者の享受できるサービスが、強豪チームで成績優秀な選手は得られるが、大多数の登録者は、社会人を除き、公式戦など数えるほどしか参加できない現在の仕組みを理解し、再考すべきと考えます。</p>	
14	神奈川県	<p>今年度はそのまま徴収します。</p> <p>必要なものであれば、だれも反対しないと思います。 神奈川県ハンドボール協会としては、「必要がある」と説明します。 日本ハンドボール協会の丁寧な報告が必要だと考えます。</p>	<p>おおむね理解を得られました。 このような状況（コロナ禍）だったので、メール配信での確認です。</p> <p>基本的には「1」に同じ 日本ハンドボール協会の丁寧な報告と、神奈川県ハンドボール協会にとってどれだけのメリットがあるか？が判断基準になるかと！</p>	
15	山梨県	<p>県内において特に意見もなかったことから、了承とします。</p>	<p>実効性のあるものとしていただき、目的達成をお願いします。 また、運営作業等において、県協会の負担とならないように配慮願います。</p>	
16	長野県	<p>昨年度の長野県協会の常任理事会においても話題になり、オリンピックへの強化のために集めていた協力金であり、2021以降には集めるべきではないと考えていました。 今回、「JHA会員サイト」の開発については国から補助が出ることになり、500円の継続集金をせずにやっていけるという説明があったので、「特別支援金500円」の集金はやめるべきだと考えます。 今後、ハンドボール界のために資金が必要になるのであれば、改めて提案し、承認してもらうのがよいと考えます。</p>	<p>新しいことを始めるには、賛成反対があっても当然だと思います。 今回、提案のあったシステムにも長短があると思いますが、会員が個々で利用できるというのは、とても良いと思います。 どのくらいの利用が見込めるかはわかりませんが、実施できると良いと思います。</p>	
17	新潟県	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援金実施について問題ありません。 県単体として収益は少ないと思いますが、実施につきましてはできる限り協力致します。 強化費の収支報告を明確にしてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報集約・蓄積にいては、大変いいシステム導入だと思います。 対応期間を十分とっていただきたいと思います。 操作が難しくならない様に願います。現行システムのブラッシュアップなシステムを願います。 	
18	富山県	<ul style="list-style-type: none"> 賛成であるが、見通せる期限はありますか。 強化はお金だけではできないと考えます。強化策の主役はNTSであり、東京オリンピックでの上位入賞は、全ての環境を好転させる原動力となる。 <p>【この場ではふさわしくないですが、現在思っていることを述べさせていただきます。】</p> <ul style="list-style-type: none"> 競技人口の減少問題（出生数減はコントロールできないが、メディアへの露出度はバレー、バスケット、サッカー等に全く追いついていない） 働き方改革に伴う、学校対抗とクラブ対抗の両輪に踏み込んでいない。日ス協会と日本中体連、全国高体連がお互いにもっと汗をかかなくてはいけない。（各競技団体がそれぞれに要望すべきである） ブロック理事長の本当の必要性はどこにありますか？個人的には、問題解決（強化、競技、審判、マーケ、リーグ等）のためのワーキンググループであれば少しは貢献できると考えますが。（もちろん現在の内容も含んでのことですが） そろそろ対面での会議は考えておられますか？ <p>今、述べていることは当然ながら協会の方々もお考えかと思えます。失礼しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 情報化社会に即した、メディアに注目される競技団体となるべく、20万人会員と言わず、80～90万人会員を目指す意味で賛成である。（ドイツでは、90万人会員と言われており、メディアの注目度は非常に高い） 	
19	石川県	<p>オリンピック協力金の名目で500円を上乗せして徴収していましたが、JHA会員サイト運営資金のためにその500円を継続できないかということでしたが、結果的にはいなくなりなくなりました。 それはそれでよかったのですが、何か500円だけが独り歩きしている感があります。オリンピック協力金は協力金で一度ちゃんと終わらせて、JHA会員サイトに本当に必要な金額はいくらなのか。そもそも会員に頼らざる負えないところも問題があると思います。 また、全国理事長会議で会長より強化費が全然足りないとのこと。それなら支援金はいくら必要なのか。具体的な数字的根拠がよくわかりません。一律500円でもいいのか。支援金に反対しているわけではないのは私だけでしょうか。</p>	<p>よい取り組みだと思いますが、登録手続きがややこしい感じがしました。今までチームで登録していたものがすべて個人になると、二重登録や未登録のチェックが必要だと思いました。</p>	
20	福井県	<p>費用の支出を依頼することには反発もあるかもしれないが、それに見合うサービスまたはメリットを付加して理解を求めるようにすべきだと思います。</p>	<p>競技人口の維持のためにも必要であると思います。 日常の運営をしっかりとするための組織、スタッフ確保に努める必要があります。</p>	

アンケート結果 <2021年度以降の「特別支援金：500円」について・「JHA会員サイト」について>

	1. 2021年度以降の「特別支援金：500円」について	2. 「JHA会員サイト」について	3. その他
21 静岡県	県協会の常務理事会で「JHA会員サイト」についての説明をしたが、ほとんどの理事から理解を得られなかった。今、「JHA会員サイト」のために「特別支援金」を集めるよりも、トップの強化のために「強化協力金」を集めて、オリンピック・国際大会で良い成績を残し、マスメディアへの露出度を上げていくのが先ではないか？	サイトの必要性を感じる者がほとんどいない。故に、多くのお金をかけて立ち上げることに反対する意見が多い。	
22 愛知県	1) 特別支援金6年間を総括しその報告がほしい 2) 「特別支援金」の名称について、何への支援金なのか明確でない 3) 特別支援金の使途については、「強化」と「JHA会員サイト」ということだが予算概要（振り分け）がみえない。 したがって、勝手な私案（理事長） 4) 「特別支援金は2020年で終了し、総括をする。2021年から登録金を値上げする」値上げ理由は強化費不足。2021年予算概要に「JHA会員サイト」を入れる。 ※登録金の値上げ額は特別支援金学に見合った額とし、個人登録金500円、あるいはチーム登録、個人登録を考慮する。	質問 1) 「JHA会員サイト」による収益方法がよくわからない。 2) 「JHA会員サイト」にはどれほどの予算（年度別）が必要なのか 3) 県単位の試合結果・個人戦績まで網羅する？には、どのような方法でだれが記録収集整理するのか 4) 末端の試合管理（申込・参加料・プログラム等）は現在の管理システムではできないのか 5) 現在の登録システムはどのようになるのか。現在のシステムを改良して使うことはできないのか。	
23 三重県	●「JHA会員サイト」の運営資金が不透明なので、支援金がどのように使用されるのかわからない。 ●支援金の目的が新サイトの導入なのか、強化費の赤字補填なのかははっきりしない。 ●オリンピック後の強化についてはどのように考えているのか。強化はしないのか。 ●支援金は赤字が解消されるまでの支払いとなっているが、目標設定があり、ある程度目処を付けるべきではないか。 ●「支援金」分を、今すぐの個人登録金値上げになると、当然、関係者から異論が出て、県協会としても説明に困るので、個人登録の値上げについては反対するが、今後その様な事も視野に入れているのか。	●小中高のメンバー登録は顧問が一括で処理できる方が、安全でミスも少なくなる。 ●子ども達はスマホを持っているわけではないので、基本代表者が管理していくことになる。 ●スマホの作業を強制することは教育現場の立場からは厳しい。 ●すべての家庭にWi-Fi環境が整っているわけではない。またPCやスマホが無い家庭もある。それに対応する代表者の権限について心配がある。 ●「会員サイト」導入がなぜ「お金を生むための方策」につながるのかわからない。 →ハンドボールの価値（露出価値やスポンサー価値など）を高める狙いがあります… ↓ この事で、収入が増えるといった考えなのか？ CMとしてはものすごく地味な印象があり、今後の上昇に繋がるのか心配 ●個人の情報が見られるのは良いが、そのデータを入力する作業が生じる。その作業はどのようにしていくのか。県協会の中でその作業を作るのは難しいように考える。 ※なんとなく理解は出来るところもあるが、作業効率の面や資金面が見えてこないところがあるので、現時点では「ここが素晴らしい！！」となかなか言えないのが本音である。 ※2020年度の予算の中でアプリ構築という予算が計上されていたので、そのアプリの事なんだろうと推測はする。ここでの収入が4,000,000円、支出4,248,000となっているが、次年度の運用からどの程度の予算が必要となるのか明確にしていた方が、各チーム、個人に説明がしやすい。 ★大変な状況の中で、様々な取組をさせていただいているので、大変恐縮ではありますが、末端の者にとっても不安や心配のある中なので、少しでもわかりやすい説明が出来るよう、県協会におおしていただけると助かります。	
24 岐阜県	賛成寄りの意見 ・オリンピック以降も ハンドボールの発展 のために必要であると考えられる。 ・継続でよいと思う。ただし、（アプリ）運営費の名目での徴収は、今後値上げが考えられるので、 一般会計からの支払い がよいと思う。 反対寄りの意見 ・特別と言いつつ、毎年継続して徴収している状況は、いかがなものかと思う。むしろ、 登録費の値上げの方が良い と思う。財政の厳しい協会であることはわかっているが、協会を運営していくために必要であれば、徴収すべきである。 ・「JHA会員サイト」について 賛同（賛成？）できないので、その運営費に充当される特別支援金についても賛成できない 。「スポンサー獲得活動はもちろんこれらの活動のもと収入増が見込め財務状況が改善された暁には、撤廃する予定」という表現があるが、日本協会として「JHA会員サイト」に対して出資してくれるスポンサーを見つけるのが本来の方法だと考える。 ・チームおよび個人として、すでに 十分に登録費を収めている 。 ・「特別支援金」が全国大会や各ブロック大会の運営費補助に充当されるのであれば賛同できる。「日本代表の強化」や「選手発掘」に使われるのは理解に苦しむ。「 会員サイトの運営 」など論外。できるだけ多くの選手や指導者に還元するように使われるのであれば良い。 ・今後の用途がこれまでと異なったものであるため、 特別支援金ではなく別の名目 にしたほうがよいと思う。何に使う資金であるのかが明確になった名目であることが望ましい。 ・アプリの運営費を賄うものであるのであれば、その運営にいくら必要なか試算した上で昨今の登録者数と照合し、 必要金額を登録料に上乗せ すべきではないか。アプリの運営費ということであれば継続的に集金していく必要があるのではないか。 ・アプリの目的がハンドボールに関わる人々への情報の配信、裾野を広げること、ひいては協会登録数が増加し、登録料による増収であるのであれば アプリのログインに協会登録IDを必須とし、アプリ利用を実質有料にする 。アプリ利用のためだけの低金額の登録料を新たに設定するのもよいのではないか。	賛成寄りの意見 ・データ化することにより 活用の幅も広がり 、必要性を感じる。 ・実施してみてもどうかと思う。お金がかかる事ではあるが、 協会の活性化とハンドボーラーすべての人に還元 できそうなのであるから、賛同できる。 ・国内のハンドボールに関する情報がサイトに集約されることは画期的だと思う。このアプリの利用者と目的が一部の人ではなく、 裾野の選手や協会登録までは至っていないがハンドボールに興味がある人たちの発掘 にもつながる機会になればいいと思う。 反対寄りの意見 ・サイトの運営により メリットがあまり見込めない 。 ・ 一部の選手、関係者のためのサイト にしかならない。 ・社会人の大会自体が減らされていくなか、アプリの支援金を払うことに理解を得にくい。会員サイト運営する前に大会や新規事業を企画して会員を増やすべき。 ・会員登録数の減少になれば結果的に支援金収入も減少するようでは意味がない。会員サイト運営内容をもっと充実させる考えが必要。 ・「すべての大会」の「すべての試合」の 公式記録をきちんとデータ化して情報提供する労力がどこにあるのか？ 地方の地区予選レベルの小さな試合においては、簡易的な記録用紙を用いているケースがある。 ・会員サイトを作るより、 日本リーグを生配信 （DAZNなど）したほうが競技人口やファンが増えるのではないかと。	アンケート回答まとめ（岐阜県協会） 特別支援金について、名目をはっきりさせたらうて集めるか、むしろ登録金の値上げで対応するほうが望ましいという意見が多い。ただし、アプリに賛同できない、現状の登録金で何とかすべき、違う形で会員に還元されるべき、といった意見も多くの方々が感じられており根強い。 JHA会員サイトについて、実際どういったものか理解が不十分と思えるが強豪チームの監督や監督経験者からは賛同が得られている。しかし、ピラミッドの下のほうに目を配った際に実際の利用価値があるのか疑問の声が多くあがる。また、各県・地域のデータまで網羅するのか、その記録をデータ化するための方策や仕事量の増加など課題もあると思われる。 オリンピックが延期されたので、じっくり対応することが望まれる。
25 滋賀県	特に異議はありません。 日本協会のために支援金を有効に使ってください。	選手登録・大会申込等が簡素化されており、大会のスコアや大会写真等も閲覧できて大変使いやすいJHA会員サイトだと感じました。	
26 京都府	①2021年度以降の特別支援金についてですが、登録金の収益が落ち込んでいるのであれば、特別支援金にこだわらず、登録金自体の値上げを行えばよいのではないのでしょうか 特別支援金という名前で徴収するとオリンピックも終わっていないのに何の支援に使うのか？という疑問が残ります。 値上げをする代わりに登録者に新たな、特典や特別なサービスを行っては如何でしょうか？JHA会員サイトもその特典になるのでは？と期待しております。 ②京都府内でレフリー登録を担当しておりますが、このまま特別支援金制度を続ける事になりますと、レフリー、一人一人を選手やチーム役員などで登録していないかをチェックしないといけません。登録のWeb画面ですぐ分かる様に改善して頂ければ便利になります。	どのようなサイトになるのか、すごく楽しみです。期待しております。	

アンケート結果 <2021年度以降の「特別支援金：500円」について・「JHA会員サイト」について>

		1. 2021年度以降の「特別支援金：500円」について	2. 「JHA会員サイト」について	3. その他
27	大阪府	来年に延期された東京オリンピックのための特別支援金が、JHA会員サイト運営のために同じ金額をそのまま使用されるのはいかがなものかと思いますが、各府県等の負担軽減になることを考えると概ね賛成したい。しかしながら、徴収期限が無く予算措置が出来るまでの間となっているが、予算確保のロードマップを具体的に示して頂きたい。また、予算執行に当たっては慎重に、かつ完全丸投げでは無いように努めて頂きたい。	使いやすく、全国大会を主幹する県の負担をなくし万全のサポート体制を整え、稼働後、改善等柔軟に対応して頂きたい。また、使用方法のレクチャーも併せて考えてください。	
28	兵庫県	致し方のないことと理解して、兵庫県ハンドボール協会としては湧永会長、清水事務局長のもとで、適切に運用されると信じ、県内の登録料を治めているチーム、個人に理解してもらい、承認していただくようにしていきます。くれぐれも以前の日本ハンドボール協会のように、疑念を抱かれるようなことがないよう、日本ハンドボール協会の運営をしていただけると信じておりますので、よろしく願います。	このまま進めていただけたらと思います。	
29	奈良県	特に異論はありません。	賛成です。	
30	和歌山県	和歌山県協会では、「2019・2020特別強化支援金」については、登録者の個人負担で賄ってきた。和歌山県では、全カテゴリーにおいて登録者が減ってきているので、運営補助金も年々減ってきて運営も厳しくなっている。そのため、登録料も上げたいが小学校や中学校のカテゴリーでは登録金が払えないために日本協会に登録できず、試合に出場できないという選手もいる。 そのような事実がある中で、必要性が不透明な「JHA会員サイト」のために、特別支援金500円を払うというのは厳しいと考える。 また、「スポンサー獲得活動はもちろんこれら活動のもと収入増が見込め財務状況が改善された暁には、『特別支援金』は、撤廃」とあるが、この文面ではいつまで特別支援金を納めなくてはいけないのか不透明極まりないので、協力が厳しいという意見が多い。 協力する最低限の条件としては、特別支援金が今後実施されるのであれば2年間と期限を区切るということが挙げられた。収入増が見込まれた場合はもちろんであるが、収入増が見込まれなければ、事業の見直しをするべきだという意見も挙げられた。	必要性が感じられないという意見が多い。理由は現状の日本協会のホームページや登録システムを改善すれば、「JHA会員サイト」の開発は必要ないのではないかとということが挙げられた。	
31	鳥取県	2015年から2020に向けて500の登録料をアップしている。この件については了承しているが、2020オリンピック強化にその増加分の登録料がどのように生かされたのか、報告をしていただきたい。500円の増額は小さくない金額なので、それが有効に生かされたということが前提にあって、今後支援金という形での登録料の増額について意見を出していけばよいと思います。また、今後を見据えるならば大きなスポンサー契約がないままでは、いずれ受益者負担という名目で、登録料の引き上げをせざるを得ない状況が考えられます。支援金としての名目で明確な期限を設けずにオリンピックの支援金をそのまま継続し500円という金額を維持するよりは、協会の運営について本当に増額がいくら必要なのか試算を出していただき、みんなが納得する形で増額をしていくほうが建設的だと考えます。まずは、この6年間の増額で増えた収入がどのような形で使われ、どのような成果につながったのかをお示しいただき、そのうえでみんなが納得する形で、必要な増額をしていってほしいと思っています。 日本協会HPにある決算報告書も見ましたが、500円の増額分がどのように使用されたのか、わかりませんでした。会計の専門家が見れば示されているのかもしれませんが、各都道府県の一選手でもわかるような説明資料があると助かります。	○新しい会員サイト（アプリ）の立ち上げが登録料増額を継続する理由のひとつであれば、まずその必要性、特に財政に余裕がない状況にあって、どうしても導入する必要があるのか説得力が乏しいように思います。新しい機能が入れば事務処理の助けになることはあると思いますが、協会の財政強化等につながるものかどうかという点です。まず運営の見直しを含めて、現状の収入で回っていく形にすることが優先されるのではないのでしょうか。回らないから新たな投資をする。その資金は選手の登録費の増額。という論理はどうも納得がいかないように思います。 勝手な意見ですが、このやり方では資金繰りに頭くたびに受益者負担が増えていくように思います。選手強化や普及など多くのことに関わってくるので、協会の資金力の強化は必須事項ではありますが、優先順位がどこにあるのか、疑問に思えます。 ○資料にあるマーケティング効果が果たして有効なものか、疑問視する意見も出ています。データの集積・一元管理はできるのでしょうか、スポンサー獲得に向けて、そこからどのような展開が考えられるのかが、よくわかりません。	
32	島根県	特に異論はありません。中国ブロックの会議でも確認されました。	賛成です。	
33	岡山県	微力ではありますが、国内でのハンドボール競技の普及・強化に向け必要な支援はできる範囲でさせていただきますと考えています。 ○来年度特別支援金を徴収した場合、年間約400万円が増収となるのが考えられます。 「JHA会員システムの構築」のためには、総額（構築費、ランニングコスト）はいくらになりますか。 ○黒字化（特別支援金の廃止）のために必要な、JHA会員サイト登録数は何名を想定されていますか。 ○今後、今までのような強化も必要だと考えます。「強化・特別支援金」のような協力の方法はいかがでしょうか。	○今後の選手やその関係者などのモチベーションの向上になる。 ●掲載する際に、多くのマンパワーが必要になる。 ●現状として、TwitterなどのSNSが普及し、無料で様々な情報を得ることができる。 ●チーム名、背番号、氏名が同時に閲覧できることで、個人情報の取り扱いが必要になることが予想される。 県内などの小規模の大会では、掲載する際に注意が必要である。	
34	広島県	2020年までの期限付きということでしたが、オリンピックの延期や強化事業サイトの立ち上げ等に費用を必要とすることはビデオを見て理解しました。 予算の大枠と根拠、執行後の会計委報告があれば、支援金はいつまでと区切った上で協力していかないといけないと思います。 常任理事会や総会を開く機会がないため、私の意見がが広島県協会を代表した意見とします。	愛好者を増やすという視点と使いやすさという2点がクリアできれば、それに越したことはないと思いますので、賛成します。 特に、マイナーを打破するためには、ジュニアと保護者の会員増加が一番の課題であると考えますので、よろしく願います。	
35	山口県	・有効に使っていただけるなら賛成 ・使途状況、使途明細を公開してください（多数） ・各地域で地道に取り組んでいる団体に援助してほしい などの意見がありました。ほぼ全員が必要なら止む無し、でした。 別会計で収支報告が必要です。	・メジャースポーツになれる糸口になるようなものを作ってほしい。 ・個人情報の管理は確実にできるのか。 ・収益になるビジョンが見てこない。 ・現場から見て様々なシーンで活用できるようにしてほしい。 良くわからない印象を持たれた方が多いのですが、概ね賛成でした。 年間登録や大会登録公式記録の記入など現場に役立つもの。また、ファン拡大のためにいろいろと先進的なものを期待しています。	
36	香川県	非常に難しいです	特にありません	
37	徳島県	「2019・2020特別強化支援金」については、東京オリンピックに向けた強化とその目的もはっきりとしており、本県協会内においても一定の理解を得ていたと思われ。しかし、今回の支援金継続に関しては、その目的（強化？会員サイトの構築？）が明確でないこと、少額と言えども選手には負担が継続されることになることから、理解は得られにくいと考えています。そのような状況の中、先日開催された「JHA会員サイト」説明会において、会長からの説明の中で「国からの補助金が得られたので、次年度以降特別支援金の徴収は不要」との発言があった事を受け、既に一部役員間において情報の共有を行ったところです。 次年度以降の「特別支援金」については、徴収しないとの認識をしていますが、それで良いのでしょうか？	基本的には、新しいサイトの構築には賛同します。 しかし、いくら素晴らしい理念に基づいたサイトができて、その運用が十分になされなければ、意味のないものになってしまうことから、できる限り簡素で使いやすいサイトとなることを希望します。 また、選手登録等は基本的には各個人が行うことを想定しているとのことですが、現実には厳しいものがあり、結局はこれまでどおりチーム役員等が代表して登録する事になるのではないのでしょうか？ それではサイトの本来の意義が薄れてしまうことから、その部分をクリアするための取り組みが必要と思います。 大会記録等についての入力も求められとのことですが、上記に記載の選手等の登録も含め、協会役員の事務簡素化との目的に逆行することのないよう願います。	
38	愛媛県	特別支援金とJHA会員サイトについて、詳細かつ丁寧な資料を送付していただき、ありがとうございます。当協会内で協議した結果、JHA会員サイトについては大変有意義であり、特別支援金についても賛同である、と意見を集約しましたので、御報告させていただきます。回答が遅くなり、大変申し訳ありませんでした。		

アンケート結果 <2021年度以降の「特別支援金：500円」について・「JHA会員サイト」について>

		1. 2021年度以降の「特別支援金：500円」について	2. 「JHA会員サイト」について	3. その他
39	高知県	今後のナショナルチーム等の強化に必要であれば徴収もやぶさかではないと考えますが、競技人口の減少等に伴い頻りに増額されていくようであればいかがなものかと考えます。	Hanndballer.jpと並行して運用して、徐々に移行していただきたいと考えます。 また、スポーツ協会への国体登録には勤務先等の個人情報が必要なため登録担当者がアクセスできるようなシステムにしていきたいです。	
40	福岡県	強化ができないという事であれば支援金を続けていくのはしょうがないかと思えます。	1. 協会サイドから ・登録金の徴収が楽になる？ 現状は、チーム責任者がチーム登録料や選手の個人登録金をまとめて支払いをしている。この現状を簡略化するのは、チーム登録金はチーム責任者が支払って、個人登録金は個人のスマートフォンなどから入金できたりすることで簡略できると思われる。ただ、未成年の高校生や特に小学生は個人で入金処理ができないので、高校生以下の選手をもつチーム責任者は、導入されても依然と徴収が楽なることできないと考えるが、そこの事務処理はどの様に楽になるのでしょうか。 2. 大会運営サイドから ・大会申込について考えてみると、申込は役員と選手の記入に際しては、IDから入力が可能になり同一フォーマットで申し込み事ができれば楽になると思われる。ただ、申込の中からベンチメンバーをセレクトして試合に出場する場合の大会は、試合ごとにメンバーを提出する時にどのように行うのか。紙媒体で提出となると、印刷するプリンタを大会本部が用意しなくてはいけなくなる場合も有り、余計な事務負担も出てくるのではないかとと思われる。その点は、どの様におこなうのか。 ・大会の個人情報を選手が確認できるとのことだが、その個人情報は誰が責任を持って入力するのでしょうか。家計簿アプリみたいにレシートを写真で取り込むだけで項目や金額を入力できるように、スコアシートを撮影してそれが自動的に選手の得点などの個人情報が入力できるなら、事務量の省力化につながると思われる。しかし、手作業で大会本部が入力するとすると運営側の事務量が増えるだけのようだが、どのように処理していくのでしょうか。 3. 競技者サイドから ・大会の情報はまとめてサイトを見ることで、ハンドボール戦歴が見る事ができるのは良いことだと思います。ただ、大会だけの情報なので、絶えず利用するものではないと思われる。これが、個人の 4. 審判サイドから ・審判育成に利用できたりするのに、この大会の審判が可能かと事前に入力しておいて、大会の審判長がその情報から振り分けや招集をかけたりすることができたら良い使われ方だと思います。また、審判員の連絡手段に使用できると、報告書などの提出がスムーズに利用できると思います。 5. その他 ・高校から大学の離脱者が多いということだ、やはりハンドボールを続けることのできる環境がないことや、ハンドボールを見るという機会が少ないことが考えられる。サッカーやベースボール、バスケットボールはネット環境があれば、欧州や北アメリカの大会が見ることができると、世界のハンドボールリーグを見る環境ではない。そこは、会員サイトを、競技を終えてもハンドと関係を持ちたい方にとっては、会員サイトに入ることで見る事ができるとかであれば面白いかもしれない。 ・二十万人会についても、子供や孫の大会情報を知りたいとか、会員になっていると日本リーグの割引をしてくれるとか、お店の割引をしてくれるとか、クーポン券を出してくれるとか、競技者でなくても継続的に利用できるとなれば、ハンドボールに関係しているマーケットに利用できるのだと思う。そのような事業は考えていますか。	
41	佐賀県	オリンピックは東京で終わりでないので引き続き支援していきたいと思えます。 また、強化費としての位置づけで適正に運用していただきたいと思えます。	運営等の方法も簡単に便利な方法を取り入れていただきたい。	
42	長崎県	賛成です。	賛成です。	
43	熊本県	500円の使用目的を途中で変えるのは良くない。 ハンドボールの登録料は他の競技と比較して決して高くはないと思っている。今の財源で目的が達成できないのであれば、登録料の値上げも選択肢ではないか。	大いに結構なことで、賛成します。 色々と便利になること、新しい楽しみ方が増えることを期待しています。	
44	大分県	・「JHA会員サイト」の収支が分からないので、なぜ500円が必要なのか、500円という金額が妥当なのか、分からない。ざっくり「財政が苦しい」というのは、分かるが。	・負担が軽減されるのは有難い。が、地方大会にまで活用できるのか？ ・サイトを導入することで、競技者等を20万人に増加させるというロジックが分からない。 (・説明動画が長い、17分強)	
45	宮崎県	特別支援金については、継続を承認する。ただし、チーム役員登録と審判員登録で二重払いが生じているので、そのチェック方法が課題である。	異議なし	
46	鹿児島県	ご協力致します。	このご提案に賛同いたします。	
47	沖縄県	・この特別支援金で日本国内のハンドボールが普及発展強化など出来るのであれば協力していきたい。支援金を元に補助を受ける人々にはお金の出所をちゃんと説明してほしい。 (応援してくれる人々がいることを) ・今後、特別支援金+特別支援金の増額が容易にされないよう注意して運用していただきたい。 小さな金額でも家庭の中には捻出の厳しい人々がいる。	・新しいシステムへの更新は必要、しかし、刷新されるときに個人番号・チーム番号なども新しくするのは無くしてほしい。 ・個人負担金が発生しないのは有り難いです。 ・ファン会員登録のメリットを明確化し、一度登録したファンが毎年更新する場合の煩わしさを軽減してほしい。逃がさない方法もしっかりと構築して欲しい。	
48	社会人	500円については約束通り一旦終了とするべき。JHA会員サイトでお金が不要となったとのことであるが、その他の運営資金が必要となったのであれば、使い道を明確にして登録料の見直し(値上げ)を検討した方がよい。	JHA会員サイトについての取り組みは、とても良いことですので賛成です。 競技者の確保や情報の共有化など、日本協会として取り組むべきことの重要な案件と感じております。 ぜひ、積極的な取り組みをお願い致します。	

アンケート結果 <2021年度以降の「特別支援金：500円」について・「JHA会員サイト」について>

		1. 2021年度以降の「特別支援金：500円」について	2. 「JHA会員サイト」について	3. その他
49	学連	2013年東京国体の時に開催された全国理事長会議の場で、全日本男女チームの強化の為に特別支援金500円の支援を了解されて導入され、フル代表のみでなくアンダーカテゴリーにも支援され、その結果が、U-24でも2018世界学生選手権（クロアチア）で女子優勝・男子3位といった成績に反映されていると思います。 東京五輪の後のスポンサー動向、その他、マーケティング活動の先が見えない状況下では、協会としてのマーケティング活動の更なる努力を前提に、簡単に登録料の値上げなどに繋げず、2021以降の協会本体の活動運営の充実の為に特別支援金としての資金手当としての支援活動と理解し了承します。	20万人会の活動（会員確保他）の更なる活発化とか、他の競技団体のように積極的な情報発信で斯界のOBOGの現場復帰、競技者の親族や関係者への対応、一般の方々へのアピールが必要かと思われるが、広報活動と合わせて会員サイトの有効利用で、住したものにしていきたい。	
50	高体連	特に異論ございません。厳しい財政状況が続く中、さらに新型コロナウイルスの蔓延による東京オリンピックの開催延期など、スケジュールの再調整に苦勞が絶えぬ日々をお察し申し上げます。微力ながら、本連盟として日本ハンドボール協会を支援できる一助になればと考えております。	立ち上げの趣旨は十分に理解できます。課題はこれからの広報活動にあるかと考えられます。マスメディアを存分に活用していく働き掛けを強めていかれることを期待します。特に男女ナショナルチームの動向がより広く情報発信されんことを祈念します。さらに個人会員に対しましては、ネットワーク環境の充実が急務の課題でしょう。試合後の映像配信を気軽にスマホを介して視聴している数が急増している傾向はありませんか。学校時代にハンドボールに携わった社会人の目（登録）が、この会員サイトへより多く流れるためにもこまめな情報発信ができる体制を整えていただきたい	
51	中体連	特に異論はありません。 毎回上げる時には苦勞しているようであるが、継続であれば理解を得られるのではないか。	賛成です。	
52	車椅子連	車椅子協会として意見はございません。必要な資金であれば使途を明確にして大切に使用してください。	ハンドボール界が良くなるものであればぜひ導入してください。	
53	関東	会長提案に賛成		
54	中国	中国ブロックは概ね賛成です。 ただし、会計報告がなされることが、最低条件と考えています。	アプリについては、ハンドボールがより多くの人に認識されるような良いものになることを強く期待しています。	

2020.10.1現在